

「立ち会い分娩」「入院中の面会」の再開にあたって

新型コロナウイルス感染症の広がりとともに、当院においては「立ち会い分娩」ならびに「入院中の面会」について、中断をしております。

患者様からも再開のご要望は多く寄せられており、また当院での分娩を控えられた患者様もおられたことと察します。

出産という人生にまたとない機会は、ご夫妻で支え合いながら向き合われることは自然なことと思えますし、入院中のご家族の励ましも大切なことであります。

コロナウイルス感染症の猛威が続く中、患者様の感染も防ぎつつ、再開できうる状況、条件を検討して参りました。このたび、岩手県緊急事態宣言が解除となり、コロナウイルスが弱毒化している現状をみますと、感染対策には注意を払いつつ、「立ち会い分娩」「入院中の面会」を再開できうると判断しました。

当院では中断して約2年が経過しますが、この間も立ち会い分娩などの希望が叶わず分娩を迎えられた患者様がたくさんおられることと思えます。お気持ちに添えなかったこととお詫びしますとともに、皆様のご協力により、当院ではクラスターなどが起きず、診療を継続することができました。改めてご協力に深く御礼を申し上げます。

当院は花巻市内では唯一の分娩施設です。コロナウイルスに妊婦さんが感染しますと、県立中部病院を中心とした高次医療機関にて治療をいただいておりますため、当院にてコロナウイルス感染症のクラスターが起きますと、当院のみならず周辺の妊婦さんに多大な影響が起きうります。

このような現状を含め、「立ち会い分娩」「入院中の面会」の再開にあたっては、感染予防に十分な対策を取りますことをご理解いただきたいと思えます。

現時点は限定的な条件のもとでの再開とし、コロナウイルス感染症の状況をみつつ、条件を緩和できればと考えております。一方で感染症の状況が悪化した際は、改めて中断もありうることを、ご理解頂きたいと思えます。

日本においても、ウィズコロナの生活様式が広まりつつあります。産婦人科も、ウィズコロナの中で、普段の様子へと徐々に戻っていきますよう、当院も取り組んで参ります。

2022年6月20日

医療法人 工藤医院

院長 間瀬 徳光